

神戸松蔭女子学院大学 キリスト教センター

オルガン奉獻30周年記念企画

オルガン・マスタークラス

オルガン奉獻30周年を記念し、神戸松蔭のオルガンの歴史を作り上げて来られた、下記講師陣によるオルガン・マスタークラスを開催いたします。神戸松蔭のオルガンに相応しいレパートリーを学ぶ、公開レッスン形式です。受講生および聴講生を募集いたします。

第1回 5月11日(土) 12日(日) 講師:今井 奈緒子

テーマ:《J.S.バッハ:ライブツィヒで成立したコラール》

課題曲: J.S.バッハ:ライブツィヒ・コラール、カノン風変奏曲 BWV769

第2回 9月28日(土) 講師:鈴木 雅明

テーマ:《J.S.バッハ:クラフィーア練習曲集第3巻》

課題曲: J.S.バッハ:クラフィーア練習曲集第3巻より自由に選択(ただしプレリュードとフーガは除く)

第3回 11月30日(土) 講師:早島 万紀子

テーマ:《フランス古典音楽の様式美について》

課題曲: ①J.ボワヴァン:「オルガン曲集第一巻」より第一旋法

②J.ボワヴァン:「オルガン曲集第一巻」より第二旋法

③N.de グリニー:ミサ曲より「グラン・ジュによるオフエルトワール」

受講生は、①または②または③を、それぞれ全曲見てきてください。

第4回 2014年3月1日(土) 2日(日) 講師:長谷川 美保

テーマ:《スウェーリンクと北ドイツ・オルガン楽派》

スウェーリンクと北ドイツ巨匠たちの作品(特にファンタジアとコラールファンタジー)を演奏しながら、この時代のオルガン様式、音楽の特徴を分析する。

課題曲: J.P.スウェーリンクの Fantasia, Echo Fantasia、

H.シャイデマンの Fantasia, Choralbearbeitungen、

F.トウンダーと N.ブルーンズの Choralfantasia から自由選択。

マスタークラス詳細

- ◆時 間 第1回・第4回:土曜日15:30-17:30、および日曜日14:00-17:00
(受講生は両日とも受講して下さい)
第2回・第3回:10:00-16:00(昼休み:12:00-13:00)
- ◆会 場 神戸松蔭女子学院大学チャペル
- ◆参加費 受講:12,000円(定員8名程度)
聴講: 3,000円(定員20名程度・先着順)
- ◆受講対象 オルガンを専門に学ばれた方、およびオルガン科学生。
- ◆課題曲 当日演奏される曲目は神戸松蔭チャペルホームページ上で発表いたします。
受講生および聴講の方は、楽譜は各自でご用意下さい。
- ◆使用楽器 マルク・ガルニエ社製オルガン(1983年建造)
・フレンチクラシックスタイル・31ストップ4段鍵盤・ピッチ=A415Hz
・調律法=変形されたミーントーン(純正3度 C-E,F-A,G-H,B-D)・音域=C~c3
* オルガンのディスプレイ詳細は、チャペルのホームページをご参照下さい。
<http://ksw.shoin.ac.jp/chapel/>

◆申し込み方法

受講をご希望の方は、申し込み用紙に必要事項、音楽歴を詳しくお書きいただき、ファクス、Eメール、郵送のいずれかで、下記申し込み期間内にキリスト教センターに申し込んでください。応募者多数の場合は、締め切り後、講師と相談の上決定させていただきます。ご希望に添いかねる場合もありますが、全体のバランスのため、予めご了承下さい。受講のご希望が叶わなかった場合は、優先的に聴講にお回りいただきます。受講決定者には受講料その他詳細をご連絡いたします。聴講希望の方は、下記申し込み期間内に直接宗教センターに申し込んでください。先着順で受け付けます。

- ◆申し込み期間 第1回(3月23日～4月20日)
第2回(8月3日～9月7日)
第3回(10月12日～11月9日)
第4回(1月11日～2月8日)

◆主催・お問い合わせ

神戸松蔭女子学院大学 キリスト教センター

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1

電話:078-882-6124 ファクス:078-882-6136 E-Mail:st.maria-chapel@shoin.ac.jp

<http://ksw.shoin.ac.jp/chapel/>

*お車でのご来場はご遠慮ください。

講師プロフィール

今井 奈緒子(第1回)

東京藝術大学、ドイツ・フライブルグ音楽大学オルガン科卒業。オルガンを河野和雄、秋元道雄、廣野嗣雄、ジグモンド・サットマーリの各氏に師事。1985年ドイツ・ゲオルグ・ベーム国際オルガンコンクール、88年ベルギー・ブルージュ国際バッハ・コンクールに入賞。日本・ヨーロッパ各地におけるソロ活動のほか経験豊かな通奏低音・アンサンブル奏者として共演者から信頼を得ている。ソロCDに「シャイトのアラマンダ」「バッハ:クラヴィーア練習曲集第3部」(以上 ALM)「スウェーデン 7つのオルガン」MUSICA REDIDIVA)「バッハのコラールを歌う」(付属 CD)等。バッハ・コレギウム・ジャパン創設時からのメンバーとして教会カンタータシリーズをはじめとする国内外での公演、CD録音に数多く参加。現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、同宗教音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会、西片町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

鈴木 雅明(第2回)

1990年にバッハ・コレギウム・ジャパンを創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博してきた。音楽監督としてしばしばグループを欧米の主要ホール・音楽祭に率いては、雄弁かつ透明なサウンド、本質に迫る演奏アプローチで、極めて高い評価を積み重ねている。近年は海外のバロック・アンサンブルにも定期的に客演するほか、モダン・オーケストラとの共演ではハイドン、モーツァルト、メンデルスゾーン、ストラヴィンスキー、ブリテンなど多彩なレパートリーを披露。昨年は東京シティ・フィルとの初のマーラー演奏が高く評価されるほか、今年を受難週にはボストン交響楽団 30年ぶりの《ヨハネ受難曲》を指揮し「21世紀のバロック音楽の理想的アプローチ」と絶賛された。BISレーベルでの目覚ましいディスコグラフィ、とりわけ「バッハ:チェンバロ作品全曲シリーズ」、並びにBCJによるバッハの声楽作品集および「教会カンタータ・シリーズ」には、批評家による夥しい賛辞が寄せられている。指揮活動だけではなく、オルガ

ン・チェンバロ奏者としても活躍している。神戸出身、東京芸術大学作曲科およびオルガン科を経て、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にてチェンバロとオルガンをトン・コープマン、ピート・ケーに師事。東京芸術大学古楽科を設立し、2010年まで20年にわたり教鞭を取った。2012年、ライブツイヒ市より、バッハメダルを授与された。イエール大学音楽大学院および教会音楽研究所招聘教授。神戸松蔭女子学院大学客員教授。

早島 万紀子(第3回)

東京芸術大学音楽学部オルガン専攻を卒業。1977年フランスに渡り、フランスオルガン界の重鎮ミッシェル・シャピユイ、アンドレ・イブワールに師事。パリ・スコラカントルム、オルセー音楽院修了。長年にわたるフランス滞在中、教会オルガニストを務め、ヨーロッパ各地の歴史的オルガンを訪ねて研鑽を積むかたわら、演奏活動を始める。帰国後は、東京芸術大学で後進の指導にあたりながら、主にフランスオルガン音楽の普及に力を注いできた。日本を代表するオルガニストとして、古典から現代に至る幅広いレパートリーに取り組み、その色彩感あふれる演奏は国内外で高く評価されている。1991年より新宿文化センターオルガニスト、現在フェリス女学院大学講師。

長谷川 美保(第4回)

東京芸術大学でオルガンを廣野嗣雄、鈴木雅明、H. ピュイグ＝ロジエ、Z. サットマリ諸氏に師事、在学中オルガニスト協会主催新人演奏会に出演する。同大学院修士課程を修了後、オランダ政府給費留学生としてアムステルダム・スウェーリンク音楽院でオルガンを J. ファン＝オールドメルセンに、チェンバロを A. アウテンボッシュの諸氏に師事しオルガンのソリストディプロマを取得して卒業。ベルギー・ブルーージュ国際コンクール・オルガン部門、オランダ・シュニットガー国際オルガンコンクールに入賞。帰国後は、明治学院でオルガニスト・音楽主任としてコンサートシリーズ等の企画や、同大学講師として後進の指導に当たる他、神戸松蔭女子学院大学で講師を務めている。2003年から1年間文化庁在外研修員としてオランダに再び滞在し、オルガン建造法とその歴史、修復と鑑定について学んだ。国内のみならずヨーロッパ各地で演奏活動を行っている。日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員。



神戸松蔭オルガンマスタークラス受講申し込み書

私は、（第 回）マスタークラスの受講を申し込みます。

申し込み日： 年 月 日

ふりがな	
氏名	
住所：〒	
電話：	FAX：
携帯電話：	メール：
受講希望曲 ・ 第一希望 ・ 第二希望 ・ 第三希望	
音楽歴・履歴	

*この申し込み書は4回とも共通です。複数の回に申し込まれる場合は、お手数ですがコピーをとって、各々の回に1枚記入してください。